

--	--	--	--	--	--

総合的な「水」災害対策の推進 —流域治水と都市計画

～予測情報提供と流域の危機管理、水害リスクと建築・土地利用マネジメント～

- 自治体ニーズに応える予測情報提供のあり方 ■新しい治水政策としての流域治水メニュー
- 都市計画側からの水害リスクへのアプローチ ■〔見附市〕水害経験に学ぶ流域治水への取り組み

2022年12月23日(金) 10:00～16:50

アクセア半蔵門・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】 清水 慎吾 氏／国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 主任研究員(兼任)国家レジリエンス研究推進センター研究統括
手計 太一 氏／中央大学理工学部都市環境学科教授
木内 望 氏／国立研究開発法人建築研究所研究専門役 東京大学特定客員教授まちづくり大学院担当
清水 芳之 氏／新潟・見附市企画調整課防災担当主査

〈新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について〉

感染予防対策として会場の座席は間隔を十分にあげます。開始前に机・椅子を消毒する、換気する、アルコールで手指消毒をする等で安全・安心を徹底しますので、マスクの着用をお願いします。

■会場：アクセア半蔵門・会議室

東京都千代田区隼町2-13 US半蔵門ビル5F
(案内図は申込後送付)

■参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

①メディア参加申込みの方へは、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)及び資料と請求書をお送りいたします。②参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名:株地域科学研究会

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)
請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします
(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送します
ますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日
受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える

地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズマンション平河町101
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp

年 月 日

■研修会 『総合的な「水」災害対策の推進—流域治水と都市計画』 当日参加 メディア参加

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____
FAX _____

Email _____

〈通信欄〉○を付けて下さい
支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名: _____

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
<p>10:00</p> <p>↳</p> <p>11:20</p>	<p>1.線状降水帯の最新観測・予測技術による自治体の避難判断支援にむけた実証実験</p> <p style="text-align: right;">国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 主任研究員 (兼任)国家レジリエンス研究推進センター 研究統括</p> <p style="text-align: right;">清水 慎吾氏</p> <p>1. 線状降水帯の定義、その自動検出技術の開発</p> <p>2. 線状降水帯の予測</p> <p>(1) 半日前における発生予測</p> <p>(2) 数時間前の雨量予測と、最新水蒸気観測とそのデータ同化法の紹介</p> <p>3. 線状降水帯の観測・予測情報を用いた自治体実証実験</p> <p style="text-align: center;">～自治体ニーズに応える予測情報提供のあり方～</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>
<p>11:30</p> <p>↳</p> <p>12:50</p>	<p>2.新しい治水政策「流域治水」の理想と現実</p> <p style="text-align: right;">中央大学理工学部都市環境学科教授 中央大学理工学研究所アジア水科学研究センター長</p> <p style="text-align: right;">手計 太一氏</p> <p>1. 流域治水までの流れと現在の動向</p> <p>2. 新しい流域治水メニュー</p> <p>3. 合意形成</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>
<p>13:50</p> <p>↳</p> <p>15:10</p>	<p>3.増大する水害リスクに対する都市計画側からのアプローチ</p> <p style="text-align: right;">国立研究開発法人建築研究所研究専門役 東京大学特定客員教授まちづくり大学院担当</p> <p style="text-align: right;">木内 望氏</p> <p>1. 流域治水と都市計画</p> <p>2. 浸水想定の水害対策まちづくりへの活用上の課題と可能性</p> <p>3. 建築物の浸水対策とその費用対効果</p> <p>4. 水害リスクを踏まえた建築・土地利用マネジメント</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>
<p>15:20</p> <p>↳</p> <p>16:40</p>	<p>4.〔新潟・見附市〕流域治水への取組みによる貯水機能の向上 ～二度の水害における見附市の対策～</p> <p style="text-align: right;">見附市企画調整課防災担当主査</p> <p style="text-align: right;">清水 芳之氏</p> <p>1. 見附市の概要及び過去の災害</p> <p>2. 水害から学び講じた対策</p> <p>3. 遊水地の整備による成果</p> <p>4. 田んぼダムの整備</p> <p>5. 流域治水の取組み</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>